

総選挙での連携確認

共産志位氏 立憲泉氏 党首会談



日本共産党控室を訪れた立憲民主党の泉代表（左から3人目）らと3氏を迎える共産党の志位委員長（右から3人目）ら10月23日、国会内

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の泉健太代表は10月23日、国会内で会談し、次の総選挙で「連携と力合わせ」をしていくことを確認しました。会談で泉氏は「与党の議席を最小化するため、連携と力合わせをしたい」と表明。志位氏は「立憲民主党から、何らかの形で連携、協力の意思が明示され

れば、前に進むことができると話してきた。泉代表の表明をうれしく思う」と応じました。その上で、岸田政権を倒すための共闘の重要性を指摘し、「政策的にも平和、暮らしの問題など太いところで大義の旗印を示せるよう、市民連合のみなさんとも協力しながら進めていきたい」と表明しました。

暮らし平和に希望を

岸田内閣に反省・転換迫る

衆・参院代表質問

日本共産党の志位和夫委員長は衆院で、小池晃書記局長は参院でそれぞれ代表質問に立ち、岸田政権の経済無策や大軍拡の危険性を追及。経済問題では、実効ある対案を示して政治の大本からの切り替えを迫りました（10月25、26日）。両氏は、岸田首相が「コストカット型経済」からの「完全脱却」と主張していることについて、「『コストカット型経済』にしてしまったのは誰なのか」をたどしました。



質問する志位委員長 10月25日、衆院本会議



質問する小池書記局長 10月26日、参院本会議

経済 賃上げ、消費税減税を

志位氏は、財界の旗振りに従って自民党政治がやってきたことだと批判。その上で「30年来の経済政策の切り替えが必要だ」と迫り、共産党の「経済再生プラン」の中から「5つの改革」（別項）を提案しました。岸田首相は「長引く不況等を背景にコスト（カット）型経済

日本共産党

が続いてきた」と述べるだけで反省を語りませんでした。「5つの改革」①最低賃金を全国一律1500円に②非正規ワーカーの待遇を抜本的に改善③消費税減税④年金引き上げ⑤教育費負担の軽減。



総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

日本共産党



元参議院議員・新47 たつみ たくみ



党京都府常任委員・新37 堀川 あきこ
(京都2区筆順)



衆議院議員2期・前55 清水 ただし
(大阪4区筆順)



党兵庫県常任委員・新48 こむら 潤
(兵庫8区筆順)

制度解説

衆院選挙 投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます 政党名を衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

選挙区は「候補者の名前」で

近畿民報

2023年11月No.1(第573号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目